

「知識による啓蒙」

「教師が生徒たちに対して、態度、話し方、行動で自ら模範となるならば、愛情を示して生徒たちの将来を気遣ってあげるならば、生徒たちは幸福になり、教師に対して自然に敬意を育むものです。愛され気遣われて大きくなった子どもは、幸福な人生に恵まれることは間違いありません。そのような子どもたちはその後、倫理的にふるまい、他人の幸福のために働く限りにおいて、地域社会の誇りとなるのです。つまり教師というものは、民族の将来の世代を手にかけているのです。」

チベットのダライ・ラマ 14 世殿下著「心からの宝石」より一部変更して引用

「知識による啓蒙」

「2007年教育分野における優秀賞」

民族に対する貢献により、ラマ・ヌガワン・クンガ・ビスタ氏に授与

学長席からのメッセージ

この年刊誌を皆様の前に公表できまして、この上なく喜ばしく思います。今の世代のために教育を向上しようという私たちの真摯な献身を知られて、満足に感じてくださればと思います。グレート・コンパッション寄宿学校（「偉大なる思いやりの寄宿学校」の意）は、9年間に多大なる成果を上げてまいりました。当校はムスタン郡全域で最も有名な学校です。現代の科学時代の難問に立ち向かえる、十分な教育を受け、熱心で、頼れる人材を世に送り出すのに必要な、あらゆる施設を提供することに熱心に努めています。

ひどい打撃を受けた学校のインフラを復興するために、学校管理委員会は、十分な広さの新しい食堂と教員宿舎を同時に建設する責任を引き受けております。

同様に、時代の要請を考慮し、時折寄贈者から寄せられる提案にお応えしつつ、学校管理者は、来る 2009 年～2010 年の学年度を期して、ローマンタンに第 3 学年を再開することを決定いたしました。

ネパールの政情不安定と、すべての民族に対する政府の好ましくない政策のために、今年に入ってストライキと休みが増えました。

しかし、9年間に当校は、アッパームスタンにおける歴史の浅い教育分野にあって、いくつかの変化をもたらしてきました。この間、甘い経験と苦い経験と多く味わいました。

今日の成果は、私たちを支援くださる諸団体のおかげであると、大いに感謝しております。すなわち、アールガウ州マグデンのローマンタン学校組合、ルガーノのティチーノ州チベット組合、ツィーゲルブリュッケのガルテンフリューゲル財団、ラウフェンブルクのヒマラヤ児童財団、その他、個人のスポンサー、寄贈者、支持者の皆様です。

最後に、編集委員会のメンバー、学校職員、生徒の皆様、年次学校誌刊行にあたって、寄稿と独創性を賜ったことに感謝させていただきたく思います。

グレート・コンパッション寄宿学校

創設者兼学長

ラマ・ヌガワン・クンガ・ビスタ

学校幹事からのご挨拶

まず初めに、ネパール政府の教育・スポーツ省から、「2007年教育分野における顕著な貢献」賞が2年連続で当校に授与されたことを知って、励みに思います。学長を初めとする教職員と全生徒に対して、その変わらぬ労と献身に真心からお祝いの言葉を述べたいと思います。そして何よりも重要なのは、私たちを支援くださる諸団体、個人のスポンサー、寄贈者、支持者の方々です。この受賞は当校にとって大いに励みであり、誇らしい瞬間であることに間違いありません。

2008～2009年度は、私たち学校関係者にとって非常に出来事が多く、教育上意義があり、革新をもたらすものでありました。さまざまな課外活動が編成されました。教員と生徒がともに、教室での正規の通常授業のほかに、そうした活動に出席しました。今年も、当校児童の学業成績がかなり向上し進歩いたしました。当校の最年長の生徒、ペマ・サムドゥープとテンジン・グルンの2人が、SOS高等学校の第9学年（中学3年）で自己最高水準に達しました。2人は最近、ポカラの郡教育当局が実施した第8学年（中学2年）の委員会試験を受けており、結果は地元紙でもなく公表されます。今年11名の生徒が第5学年（小学5年）を修了し、当校を去ってSOS小学校に入学することになりました。SOSの学校で学ぶ生徒たちは、相変わらず懸命に勉強して誠実に打ち込む姿勢を見せてきましたが、当校生のなかには、学科での能力がわかるのはこれからという生徒もいます。グレート・コンパッション寄宿学校の児童の学業成績は、教育においてもその他活動においても、全体的に昨年度と比べてかなりの向上を見せました。

今年も、ポカラにある当校に何人か大切な方々が訪問されました。スイス出身の有名な写真家ロバート・ジェニー氏とその友人マニュエル・パウアー氏が、ポカラにある当校を訪問されました。お二人は心からの歓迎を受け、職員と生徒たちからスカーフで挨拶を受けました。ジェニー氏と友人は、ポカラ訪問の前に、ヘリコプターでカトマンズからムスタンへ飛行機で直行されました。10月26日、タシ・アルベルティニーニ夫人とその友人ガービ・ワイク夫人が当校を訪れ、当校のインフラと環境を視察されました。訪問期間中、当校生徒は1ヶ月間の休暇中でした。お二人のポカラ滞在はわずか3日ほどでした。11月半ばには、バーバラ・ローニガー夫人も当校を訪問され、ポカラに2週間滞在され、友人の方々に会われました。夫人は当校職員と生徒たちから温かい出迎えを受けました。訪問期間中、夫人は教員との会議を召集され、学校教育の現状と将来必要になるものについて討議されました。

「スイス中央教育大学」ルツェルン校の2人の女子学生、ヨエレ・ハンマーリさんとベーラ・ミュラーさんが、2008年6月13日から7月12日まで1ヶ月、教育実習に出られました。滞在中お二人は第3～5学年（小学3～5年）の英語を教え、SOSの生徒たちのために競争も計画・実施されました。さらに、教員たちの間で、授業についていくつかやり取りを交わし、学校と勉強に関してその他討論の場が持たれました。

「知識による啓蒙」

スイスコンタクトの定評ある教員養成員、シーナ・スティフラー夫人が来校され、研修会には8名の教員が出席しました。研修では主として、さまざまな教授法、リスニング技能、コミュニケーション技能、討論が強調されました。教員はさらに、新しく楽しい教授法に馴染みました。英語科教員に向けて、発音とアクセントの向上にさらに時間をかけることが強調されました。この種の研修が教員にとって、生徒や同僚との職業生活において有益なものであったと確信しています。

バーバラ・ローニガー夫人の惜しみない支援をもって、総合健康診断と目の集団検診計画が、2008年11月29日に学校で行われました。医療チームが全校児童を検査し、薬を提供しました。医師が児童に何らかの歯の問題を見つけた後は、歯科検診も行われました。バーバラ・ローニガー夫人には、当校児童を大変お気遣って大事にしてくださり、私たちは深く感謝しております。

8月20日、学校で「こどもの日」を祝い、特別な食べ物を出して文化行事を行いました。ボカラで学んでいる第3～5学年の生徒たちは、ネパール映画を見に映画館へ連れて行かれ、とても驚いていました。生まれて初めてとても大きな暗いホールに入って、生徒たちは大変に嬉しそうで、好奇心旺盛で、緊張していました。

2008年北京オリンピックの期間中、チベットのチベット人を中国が嚴重に取り締まり、抑圧したために、当校は今年、チベット暦2135年のローサル（新年）のお祝いはしませんでした。この取り締まりで亡くなった殉教者の方々に弔意を表するために、祝典を取りやめ、ペマ・ツァール僧院へ遠出し、バター・ランプに火を灯し、それらチベットで犠牲になった人々のためにお祈りを捧げました。

2009年は、エリザベス・アーン夫人の惜しみない支援をもって、当校児童のために寄宿舎と広々とした食堂を建設するなど、今後の事業が進んでいます。設備が整った衛生的な炊事場が作られる予定ですが、これはイタリアのミラノのヴィットーリオとマリーナから資金援助を頂戴したものです。当校児童が読書を楽しみ、理科の学科に必要な実験を楽しめるように、学校図書室と一般科学用実験室を大いに必要としています。

一部教職員と学長など、学校の文化団がアップラムスタン全域を巡回するのは、今回が初めてになります。1ヶ月の夏季休暇の間、文化行事が行われます。巡回は文化の認識を高めることを目指しており、児童にとっての教育の重要性を強調するものです。文化行事は、ムスタン全域の各村落開発委員会（VDC）で行われます。

さて、学校と児童についてさらにたくさんの情報が、この学校誌第7版の写真と記事を通して得られます。来年2010年は、グレート・コンパッション寄宿学校の10周年になります。来年は雑誌の質、大きさ、色が良くなり、今年より多くの写真と情報を掲載することをお約束いたします。しかし、ここで結びとする前に、私たちが多くの貧しい子どもたちを世話し、教育し、善良で社会に貢献する人間に育てることができるようにくださった皆様、すなわち支援くださる団体や惜しみない個人の方々に、真心から感謝を申し上げます。皆様の尽きないお心遣いのご支援に、私たちは非常に期待しております。

教職員と生徒を代表し、この場をお借りして、真心をこめて皆様に時候のご挨拶を申し上げます。

カルマ・ギャルツェン（ツェリン氏）

2009年4月5日

平和と人間性と民族にとって教育的なもの

この現代にあって、生活のあらゆる側面は教育の影響を受けます。教育は社会の隅々まで及びます。教育によって平和と調和の中で生きよう教わります。教育とは、人生の陰の部分を啓蒙する暖かい光線なのです。人間性は、いかなる社会でも、幸福に生きる源泉です。人間性は民族に平和をもたらします。ですから、いかなる民族を啓蒙するにも、教育は決定的に重要な役割を果たします。

ネパールは開発途上国で、知識の啓蒙に恵まれない人々が多くいます。教育はあらゆる部門の開発にも決定的に重要な役割を果たします。ですから、ネパールのような国にとって教育はきわめて不可欠なのです。ムスタンは山がちな郡として有名で、文化遺産に満ちています。ムスタンの人々は教育に恵まれていません。寄宿学校を設立するというのは、ラマ・ヌガワン・クンガ・ビスタの責任と勇気のある一歩であり、国外のスポンサーや寄贈者の方々の惜しみないご支援あってのものです。エリザベス女史、バーバラ女史、タシ女史、ロバート・ジェニー氏の謙虚なまでのご支援なくして、グレート・コンパッション寄宿学校（GCBS）は今の水準に到達することはなかったでしょう。ムスタンの貧しい子どもたちを教育しようという、こうした皆様の献身と熱心な関心によって、結果として多くの子どもたちが教育を受けられるようになり、民族の危機的状況が改善されるようになるのは確実でしょう。

ネパールのなかで最も恵まれない子どもたちに対して、無条件の愛情と信頼できる教育を下さる寄贈者、スポンサー、および支持者の皆様に、私はこの上なく謹んで感謝いたします。

ムケシュ・チェトリ
教員

社説...

今学年度の終わりに、年次学校誌 2008～2009 年版を読者の皆様に公表できますことは、私たちの大きな喜びであります。すべての子どもは神の賜物であるという事実を踏まえて、グレート・コンパッション寄宿学校は、子どもたちの創造的能力を切り開くことを目指し、子どもたちに適切な環境を整えております。創造性とは、絶え間ない満足に至る現象です。私たちが努めておりますのは、創造力を当校の児童に合わせて高めるということです。当校はしばしば校内で、課外活動を運営してまいりました。さらに、本誌の助けを借りて、当校児童の隠れた才能を明らかにしたいと思います。

本誌はささやかな努力とはいえ、子どもたちが自分の隠れた宝物を開拓し、誇りをもってそれを示すための大きな舞台です。本誌において、当校児童の生まれつきの考えや気持ちが、それら独創性を何ら修正することなく、特定の形に具体化されています。

さまざまな分野から貴重な示唆や励ましを頂戴しましたことは、感心いたす次第です。そうした示唆や励ましがなければ、この誌面において本誌をお届けすることはできませんでした。

当校の尊敬すべき学長、協力的な同僚、生徒たち、そしてニュー・タイピング協会の方々に、本誌を無事刊行するにあたってご助力を賜ったことに対し、真心から感謝を表したく思います。

アップームスタンにおけるこのような教育の仕事を可能にしてくださった際限のないご支援に対して、寄贈者、個人のスポンサー、および支持者の皆様に、この場をお借りして真心から感謝の言葉を述べさせていただきたく思います。

グレート・コンパッション寄宿学校

校長

S.K.リジャル

「知識による啓蒙」

年間学業成績 — 2008～2009 年度
学年別成績上位者

年度の生徒総数 — 2008～2009 年度

「知識による啓蒙」

生徒会長

学寮長

クラス委員

2008～2009 学年度の報告

年度の新学期

4月14日

2008年の新学年度が始まる。1ヶ月の冬季休暇を終えて、教職員・生徒全員が学校に戻って来た。今年は保育園から第2学年までの4クラスしかない。子どもたちの背が小さく見える。2007～2008年度の保護者会の決定に従って、第3学年生がポカラに残って学ぶことになったためである。

成績が生徒たちに発表された。担任の先生からマークシートが手渡された。保育園の新入生も何人か、入学を認められた。今年ローマンタン校には、保育園から第2学年まで76名の生徒がいる。

先生が学年ごとに本、ノート、鉛筆を配った。制服、靴、その他衛生用品も、この日出席した全生徒に手渡された。

学寮の区分

4月18日

今日、4学寮から3学寮に生徒を組み替えた。課外活動において効果を上げ、競争意識を高めるために下した決定である。

黄学寮（ロー・ゲカール） 青学寮（ロー・チミク・ギャツァ）

白学寮（ロー・ガルプク）

テンチ祭り

5月2日～5月5日

この期間、テンチ（現地の大きな祭り）が行われた。アッパームスタン全地方の人々と多くの外国人がローマンタンに集まった。皆お互いに挨拶を交わし、意見と喜びを分かち合った。この期間、ムスタン王ジグメー・パルバル・ビスタに代わって、ムスタン王子が公式行事に出席された。

ロバート・ジェニー氏が来校

5月30日

当校の名誉スポンサー、ロバート・ジェニー氏が、尊敬すべき学長ラマ・ヌガワン・クンガ・ビスタとともに当校に到着された。チベットのスカーフで熱烈に歓迎した。ローマントン滞在中、氏は教室、生徒寄宿舍、学校図書室、事務室などを視察された。当校に対する氏の意見は言及に値するものであった。6月3日、教職員との会議を行い、学校および教員について議論した。遠隔地の政府系学校の初等レベルに従って、教員の給与を引き上げることが議論された。

ジェニー氏は6月5日、ラマ学長とともに出発されたが、お二人が去られた後、学校は静かで活気がなくなった。

1回目の期末試験が行われる

7月9日～7月15日

ローマントンの生徒全員が、この期間、1回目の期末試験に出た。

ヤルトン祭り

8月17日

夏から秋にかけて、ヤルトン祭りがムスタン全土で催される。この祭りでは、ローの人々は競馬を行う。祭りは3日間である。友人どうしでパーティーを開いた。当校はこの3日間休校を続けた。

学校遠足

8月20日

この日学校遠足があった。生徒全員と教職員が熱心に参加した。生徒全員に朝食としてビスケットとお茶が出された。昼食には、マトンと学校菜園で取れた緑色野菜とを付けたご飯が出た。遠足はローマントンの川岸で行った。子どもたちはたくさん面白いゲームをした。学校関係者一同大いに楽しんだ。

2回目の期末試験が行われる

9月20日～9月28日

保育園から第2学年までのローマンタン校全生徒が、2回目の期末試験に参加した。

保護者会をもって夏学期終了

10月8日

夏学期の終わりにあたり、ほとんどの親が学校に集まった。学校の共同創設者ジャビヤン・ビスタ氏の司会により、親と教員が会合を持ち、児童、およびその教育と健康について議論した。ムケシュ先生が夏学期について簡潔に報告し、ポカラでの冬学期の始まりについてお知らせした。保護者会はお茶とビスケットで終わった。

ポカラでの活動のまとめ

ポカラでの2008～2009新学期の開始

この日学校が始まった。生徒と教員の全員が、大きな希望と期待をもってこの日に出席した。本とノートを届けた。この日はお互いの自己紹介だけだった。新学期という長旅の初めの一歩のような日であった。それなしでは、残り全ての日があり得ないわけである。

学寮の区分

5期経た後、生徒たちを3つの新学寮に分けることにした。学寮の名前は歴史上重要な地名および僧院名ときわめて関係が深い。すなわち、ロー・チミク・ギャツァ（青学寮）、ロー・ゲカール（黄学寮）、ロー・ガルブク（白学寮）である。

さらに、各学寮に学寮長を女子と男子1人ずつ選んだ。その日から毎週金曜日に、特別な活動を行うことを発表した。実に、学寮の名前を自分たちにゆかりの場所にちなんで付けてもらって、皆幸福などという喜びようではなく、わくわくさせるようであった。

ベグナス湖で学校遠足

この日生徒、教職員全員で、ベグナス湖に遠足に行った。遠足の費用は、ロバート・ジェニー氏がポカラの当校をご訪問の際、ご厚意で下さったものである。遠足を無事行うのに必要な物をすべて持って、朝 8 時に学校を出発し、スクールバスで現地に 9 時 15 分に着いた。遠足地に着いたあと、生徒たちは踊ったり、遊んだりして、なかには水泳をした子もいた。この日は珍しいことに、小雨が降る中での昼食だった。とても楽しい昼食だった。午後 4 時にバスで学校に帰った。

1 回目の期末試験が行われる

当校 1 回目の期末試験が行われ、全生徒が出席した。

ヤンチェン・グルンが 2 学年昇級

この日はヤンチェン・グルン、そして学校関係者全体にとって、大変誇らしい特別な日であった。SOS 校で学ぶドゥリ村のヤンチェン・グルンが、学業成績優秀につき 2 学年昇級したのである。学校の全員が、彼女にこの偉業のお祝いを述べた。年少の生徒たちも来年以降、ヤンチェンの足跡をたどってくれたら、と心から思う。

2 回目の期末試験が行われる

全生徒出席で試験を行った。2 学期も非常に上出来だった。

夏休み

1 回目の期末試験の学業成績発表のあと、大部分の生徒はムスタンにあるそれぞれの村に向かった。当校のプルブ・ギャルツェン先生が、1 ヶ月の夏休みの間、生徒たちの帰り道に付き添った。

シーナ・スティフラー夫人による教員研修

スイスコンタクトの定評ある教員養成員、シーナ・スティフラー夫人が、学校で申し分のない教員研修をしてくださった。8人の教員全員が1ヶ月間研修に出席した。研修内容はさまざまな教授法、コミュニケーション、特に英語教員のための発音などであった。当校教員は本当にこの研修を楽しみにしており、得るところが十分であった。

バーバラ・ローニガー夫人が来校

バーバラ・ローニガー夫人を、当校関係者一同、スカーフと花飾りで心から歓迎した。生徒・教員全員で夫人をお迎えした。正式な歓迎会のあと、ローニガー夫人は当校々長に付き添われて学校事務室に向かわれた。ご訪問期間中、夫人は当校のインフラを視察され、当校学長および教員参加で会議が開かれた。夫人は約2週間ポカラに滞在された。バーバラ・ローニガー夫人は寛大にも、ご出発の1週間後の総合健康診断、目の集団検診、歯科検診の準備をしてくださった。

タシ・アルベルティニーニ夫人とご友人ガービ・ワイク夫人が来校

今年、当校を支援くださるスイスの主な団体の1つ、ティチーノ州チベット組合主宰者、タシ・アルベルティニーニ夫人が当校を訪問された。タシ夫人とご友人は、学校事務室、寄宿舎、炊事場、新校舎、迎賓館を見学された。ご訪問期間中、生徒は1ヶ月の夏季休暇であった。当校学長ラマ・ヌガワン・クンガが不在で、当校々長シバ・クマール・リジャル氏とツェリン・ギャルツェン氏が、ポカラでお供して接待した。

グレート・コンパッション寄宿学校で教育実習

ツーク州スイス中央教育大学から2人の女子学生、ヨエレ・ハンマーリさんとペーラ・ミュラーさんが、5週間の教育実習に出席した。期間中いくつか授業に出席し、さまざまな教授法で英語を教えた。いろいろなアイデアと学習・教授の経験に関して、当校教員と交換プログラムの方も持った。当校児童および教職員のもとで滞在を満喫したと期待している。

ロバート・ジェニー氏とご友人マニュエル・パウアー氏が来校

ロバート・ジェニー氏とご友人マニュエル・パウアー氏が、1週間のムスタンご訪問の後、ポカラの当校を訪問された。ポカラでは教職員と生徒たちが、スカーフで心から歓迎した。そのあとお二人は、ムスタンにもご同行した当校学長のお供で、学校事務室においでになった。ご訪問期間中、ジェニー氏は当校教員と給与に関して会議をされた。当校のインフラと環境の視察もされた。

共同履修活動

グレート・コンパッション寄宿学校は、アッパームスタンの地元の子どもたちを教育するために開校された。しかし今や当校は、ムスタン全域に紛れもないアイデンティティーを抱いている。そのように当校に引き付けられる理由は多い。1つには特別な共同履修活動がある。

学業の他にも当校は、民族のため質のある、有能な、献身的な子どもたちを送り出すために、共同履修活動に十分考慮してきた。こうした活動によって生徒たちは、民族が身体的には健康で、精神的には常に気配りし、今後創造性を持つために、貴重な貢献をすることができるであろう。生徒たちには、これら活動を通して特定できる、さまざまな特性があつてよいのである。

聴衆の面前で気後れしたり躊躇したりしないように、当校生徒は時間割に従って、毎日朝礼の際に、自作の朗読に参加している。

共同履修活動に生徒たちが積極的に参加できるようにするため、当校では生徒たちを3つの学寮に分けている。

2008～2009年度の共同履修活動における当校生徒の主な成果が、以下の表に掲げてある。

「知識による啓蒙」

私のこと

私の名前はディッキーです。
私はお行儀の悪い子は嫌いです。
私の趣味は物語を読むことです。
私のいちばんの親友の名前はパッサン・ドルカルです。
私はお花が大好きです。
私のいちばん好きな服はスカートです。
私はたばこのにおいが嫌いです。
私はモモが大好きです。

第2学年
ディッキー

私の村

私の村の名前はローマンタンです。とても美しくてきれいです。私たちの村は丘に囲まれています。私の村には僧院が3つあります。チョエデ僧院、トゥプチェン僧院、ジャンパ僧院です。チョエデ僧院は僧がとても多いです。トゥプチェン僧院とジャンパ僧院には、美しい絵と像がとても多いです。私の村には宮殿が1つあります。私は私の村が大好きです。

第2学年
チメ・ヤンチェン

ネパールについて

ネパールは私の国です。アジアの南部にあります。中国とインドの間にあります。ネパールの人口は2900万人です。私はネパールで生まれました。ネパールは小さい国です。ネパールには14の県と75の郡があります。ネパールの総面積は14万1181平方キロメートルです。ネパールの首都はカトマンズです。カトマンズには多くの学校、病院、道路、建物があり、空港があります。世界で最も高い山はエベレスト山、カンチェンジュンガ、ローツェなどです。ポカラには、ルパ湖、ベグナス湖、ペワ湖など多くの湖があります。コシ川、ガンダク川、カルナリ川などがネパールの主な川です。

第3学年
ヌガワン・プンタク

私の家族について

私の名前はイエシ・ワンモで、14歳の女子です。第3学年で勉強しています。母の名前はサムテンで、主婦です。兄弟が4人いて、名前はワンヤル、クンサン、ギャルツォ、チエドクです。兄弟のうち2人は僧で、2人は農場で働いています。兄の奥さんの名前はタシ・ワンモで、機織職人です。兄夫婦には息子が1人、娘が1人いて、ツェリン・ワンヤル、ラクパ・チョエゾムという名前です。息子の方は8歳で、私たちの学校の上級幼稚園クラスで学んでいます。娘の方は5歳で、私の村の学校の幼稚園で学んでいます。私は私の家族が大好きです。

第3学年
イエシ・ワンモ

私の家族

私の家族は5人です。小さくて幸せな家族です。兄がいて、名前はドウツケで、スヤン僧院の僧です。兄はとても優しく慎ましい人です。父は農場で働き、母は幼稚園児の世話をして働いています。母は子供たちが大好きです。私の両親はとても愛情があつて面倒見のよい人です。母は私たちをいつも幸せにしてくれ、みな母のことが好きです。だから私は私の家族が大好きです。

第3学年
カルマ

私の日常生活

私は3学年の生徒です。日常生活はごく普通に送っています。5時ごろ起床します。洗顔や歯磨きといった朝の日課をします。歯に気をつけるのは、歯がだめになるのは不健康のしるしだからです。そのあと30分運動して新鮮な空気を呼吸します。それから寮に戻って少し勉強します。難しい科目は姉が助けてくれます。それから友達と朝食を取ります。そのあと制服を着て学校へ行く準備をします。学校は9時30分に始まり、3時30分までです。学校ではネパール語、理科、英語、数学、チベット語、社会科、一般常識の7科目を勉強しなければなりません。放課後2時間ほど友達と遊びます。それから5時30分から自習時間が始まり、食堂でみんな一緒に勉強します。金曜日は夕方のグループ学習はありません。土曜日は休みで、私はこの日はくつろいで、朝は遅く目を覚まします。この日に服と体を洗います。休みの日はとても楽しいです。

第3学年
ペマ・ワンドゥ

私の村

私の村の名前はマランです。美しい村で、美しい丘と山に囲まれています。私たちの村はムスタン郡にあります。私の村には僧院が1つあります。僧院の名前はロー・ゲカール・ゴンパです。僧院は100以上の多くの寺院に囲まれています。世界で最も古い僧院です。私の村には国立の学校があります。多くの木に囲まれています。シュリー・マラン小学校という名前です。19人か20人の生徒と4人の先生がいます。先生たちは大変優しく、いろいろと助けてくれます。だから、私は私の村が大好きです。

第3学年

ダワ・サンモ

ツァランの女の子

私は12歳の女子です。私の名前はセキー・ドルマです。ツァラン村の出身です。村はムスタン郡にあります。父の名前はサンポ・グルンです。父は55歳です。郵便配達の仕事をしています。母の名前はカルチュンです。母は主婦です。2人の兄弟と3人の姉妹がいます。私の学校の名前はグレート・コンパッション寄宿学校です。私は第3学年で勉強しています。私の学年には生徒が25人います。そのうち14人が女子です。私の学校には7人の先生がいます。リジャル先生が私たちの校長先生です。私はチベット語の科目とチベット語の先生が好きです。この科目を教えてくれるのは私たちのプルブ・ギャルツェン・グルン先生です。ネパール語はあまり好きではありません。私は将来、医者になりたいです。

第3学年

名前 セキー・ドルマ

私の学校

私たちの学校の名前はグレート・コンパッション寄宿学校です。私たちの学校には140人の生徒がいます。私たちの学校はとても大きくて美しいです。私たちの学校には8人の先生がいます。先生たちは大変優しく、いろいろと助けてくれます。私たちの学校は木と森に囲まれています。私たちの学校にはたくさんの部屋と食堂が1つあります。私たちの学校の前には大きな運動場があります。私たちの学校にはバスとジープがあります。私たちの学校の校長先生の名前はS.K.リジャル先生です。私たちの学校の庭には花と草がたくさんあります。私たちの学校には建物が2つあります。だから、私は私の学校が大好きです。

第3学年

名前 ラクパ・チョエンゾム

「知識による啓蒙」

ネパール

私の国ネパールはアジアに位置しています。ネパールは 2 つの大きな国インドと中国の間に位置しています。ネパールは陸地に囲まれた国です。インドが東と南にあり、中国は北に向かってあります。農業がネパールの最も重要な職業です。多くの観光客がここを訪れ、ネパールで休暇を過ごします。ヒンズー教、仏教、イスラム教、キリスト教がネパールの主な宗教です。ネパールは海に接していないので、陸地に囲まれた国と呼ばれます。ネパールの首都はカトマンズです。カトマンズは大変美しい平和の都市です。ネパールは 3 つの自然の地方に分けられます。ヒマラヤ地方、山岳地方、タライ平原地方の 3 つです。エベレスト山、カンチェンジュンガのような、世界で最も高い山のいくつかがネパールにあります。ネパールは自然の美と水資源に富んでいます。私は私の国をととても愛しています。

第 4 学年

名前 ソナム・ラモ

私の将来の目標

私たちの未来には多くの道があります。良い道もあれば悪い道もあります。私たちが良い道を選ぶが悪い道を選ぶかは私たち次第です。私たちが行うすべての仕事には、将来成功しようという目標があります。同じように、将来偉大な人になろうという人には 1 つの目標があり、その目標を果たそうと一生懸命働きます。私の目標は立派な医者になって、特にムスタンの貧しい人々を助けることなので、私はよく勉強しなければならず、一生懸命仕事もしていなければなりません。誰も将来のことはわかりません。健康な人々であればこそ、良い仕事ができ、国を発展させることができます。将来私がどういう状況になるか、私にはわかりません。将来の主な目標はいつも同じで、それは立派な医者になって貧しい人々を助けることです。

第 4 学年

名前 ペマ・テンジン「B」

友情

友情とは、男子であろうと女子であろうと、2 人以上の人間の関係です。幸福な時は皆お互いに一緒にそこにいますが、悲しい時に悲しみを分かち合ってくれる人はほんのわずかです。そういう人たちが、いつでも支えてくれる本当の友達です。

昔から人は一人で生きているわけではありません。今日どんなに時代が変わっても、現代でも人は一人で生きることではできません。他人の助けが必要です。本当の友達とは、他人を悪く利用しようとは決して思わない友達です。本当の友達はいつでも他人を助けようと手を差し伸べてくれます。適切なアドバイスと提案をしてくれます。今日人々は非常に自分勝手になってしまい、何かの得にならなければ誰も他人を助けに来てくれません。でも本当の友達は、自分の時間の邪魔になるかもしれないとは思わずに、どんな時でもそこにいてくれるものです。友達をたくさん持つことはできますが、同時に、自分を一生裏切らない友達を選ぶよう十分に気をつけなければなりません。私は本当の一生の友達が何人か見つかって、とても幸運で幸せです。それであなたはどうか。「あなたの友達は本当の友達ですか。」友達を選ぶ時は十分に気をつけてください。

第 4 学年

ツェリン・ワンヤル

私たちの国章

国が異なれば国章も異なりますが、私たちの国章は他の国章から見るとかなり独特です。

私たちの国旗：

私たちの国旗は他の国の国旗とはずいぶん違います。他の国の国旗は長方形なのに対して、私たちの国旗は 2 重の三角形で、赤地で青い縁があり、私たちの文化と祭りを反映して月と太陽の象徴があります。

私たちの国を代表する動物：

雌牛が私たちの国を代表する動物です。ヒンズー教の人々はこの動物をラクスマ（富の女神）として崇拝します。雌牛はとても役に立つ動物であるだけでなく、チーズ、バター、凝乳など、いろいろな物の材料になる牛乳が取れるし、私たちの国のどこでも見かけるからです。

私たちの国鳥：

ニジキジが私たちの国鳥です。9つの色があるのでナウランギ・チャリ（鳥）としても知られています。だいたいネパールのヒマラヤ地方にしか見かけません。ですからこの鳥はヒマラヤの人々の誇りです。

私たちの国花：

ラリグランス（赤ツツジ）が私たちの国花です。とてもきれいで、青、ピンク、緑白などの色も見かけますが、赤いのが私たちの国の国花です。この花は薬草の働きもします。この花もだいたいヒマラヤ地方で見かけます。

私たちのナショナルカラー：

深紅が私たちのナショナルカラーです。深紅は幸運と勇敢さの象徴、幸運と繁栄のしるしとされています。深紅は国の王室の色です。

私たちの国の武器：

ククリが私たちの国の武器です。ネパールの軍隊は、敵の軍隊がネパール人であろうと英国人であろうとインド人であろうとどの国であろうと、戦争の時にこれを身につけます。ネパールの人々は誰でも、家に国の武器を少なくとも 1 つは持っています。

第 4 学年
ワンヤル

3人の友達

昔3人の親友がいました。名前は「誰かさん」「何でもないさん」「仲間割れさん」です。
ある日ピクニックに行き、たくさんのお酒、いろいろな肉、ジュース、そのほかの食べ物や軽食などを持って行きました。「誰かさん」はひどく酔っぱらってしまい、「何でもないさん」とけんかを始め、「何でもないさん」が「誰かさん」を殺してしまいました。そのあとすぐに「仲間割れさん」が警察に電話をかけて言いました。「誰も人を殺していません。」それで警察がたずねました。「あなたは誰ですか。」「仲間割れさん」が言いました。「私がいけないんです。」

第4学年

ペマ・テンジン「A」

友情

友情は黄金のようなものです

でも売ることはできません

友情は友情です

決して壊れません

友情はゲームではありません

日々遊ぶようなものではありません

友情は友情です

決して終わりません

友情はいつでも作るものです

壊すものではありません

もし壊したら

そうしたら私は泣き叫びます

第5学年

名前 ワンモ

理科の授業中のジョーク

理科の時間に先生がリンジンに質問しました。リンジン、オオカミやキツネやライオンなどの毛が長いのはなぜですか、と。生徒は答えました。それはジャングルには床屋がないからです、と。その瞬間、生徒全員と先生が声を出して笑いました。

第5学年

名前 タシ・ワンモ

チベットの2008年新年

ローサルは最大の祭りの1つです。私たちの新年とされています。私たちはこのローサルを他と少し違う祝い方をします。私たちはこの学校の生徒なので学校でお祝いします。私たちの学校は歌と踊りの文化行事を計画しました。私たち生徒は踊りに参加し、私たちの特別ゲストのアニ・チョーヤン（人気のある尼僧ソロ歌手）とサンバラ・バンドがすばらしい歌を披露しました。私たちもアニ・チョーヤンと組んで歌を歌いました。

この行事はネパールの2つの都市、ポカラとカトマンズでそれぞれ行われました。2月11日、まずポカラのサバグリハ・ホールで公演しました。私たちが練習してきた学校の舞台より大きい舞台を見てとてもびっくりしました。私たちはみな少し緊張していましたが、大勢の前で公演を始めると、訓練して練習した時のようにとてもうまくできました。

まさにその翌日、私たちの文化行事の公演のためにカトマンズに出発しました。私はカトマンズを訪れるのが初めてでした。ここに着くと、建物やたくさんの車などを見てびっくりしました。私たちはスワヤンブー（ネパール仏教寺院）で休憩してお茶を飲みました。それからタメルで泊まるために歩いて出発しました。途中スワヤンブーで、神や猿の像など多くの美しい光景が見え、美しい建物やそのほか多くの物が見えました。それから1時間歩いたあと、私たちのロッジに着いて休憩し、明日の公演の行事について話し、私たちが待ち続けた日が来たことも話しました。朝9時30分ごろ、私たちはニュー・バネショーワーにあるビレンドラ国際会議場に着きました。ポカラで私たちが公演したホールにも増して大きくて美しかったです。この会場でもうまくいきました。でも2つの公演で違うと思ったのは、私たちの公演を見守った人たちはカトマンズよりポカラの方が多かったことです。公演のあとロッジに戻って休憩しました。それから次の朝、ブッダナートの寺院にあるサーリン・ゴンパなどたくさんの僧院や、国際仏教学院などを見物に連れて行ってもらいました。そのあと昼食を食べてポカラに戻りました。私はカトマンズを短期間訪れるのはとても楽しいと思います。

第5学年

ヤンドン

私はどんな人間か

いたずらで、良い子で、欲張りで、わがままで、親切で、人を助けてあげ、悪いことをし、熱心で、不注意で、美しく、見苦しい、など。はい、私はツェリン・ワンモです。私がどんな人間か書こうと思います。私は少しいたずらだと思えます。友達とゲームをするときに時々ごまかしたくなったりして、いろいろいたずらをするからです。そう、言わせてもらえれば私は人との関係を良くしたいのですが、時々そうできなくなるのは私のいたずら癖のせいかもしれません。時々自分を欲張りな人間のように感じることもあるのは、人よりたくさん物を欲しがらるからです。でももうわがままではありません。私は自分の多くの持ち物を友達や家族と共にすることにしています。親切にしてくださいといつも言われます。そして私も自分が親切にしてあげた話を読んで聞かせていました。そのような話を聞いたり読んだりするよりも、自分の話をしてあげました。私は自分を親切な人間とは思いません。でもいつもは困っている人たち、特に幼い人たちの助けになってあげるかどうか分かりません。私は勉強が不注意ですが熱心です。女の子には美しさが必要だと言われるものです。友達の中には顔の美しい人がたくさんいますが、私は自分がどれほど美しいかわかりません。私が自分をどんな人間だと思っているか、その一端はまあこんなところですか。何よりもまず、もっともっと教育を受けて自分の目標を果たせればと思います。

第5学年

ツェリン・ワンモ

ムスタンの状況

ムスタンはネパールのなかで遠い郡の1つです。アッパームスタンとアンダームスタンという2つの部分に分かれます。人々は経済的に貧しいです。たいいていの人々は教育を受けていないため農業に頼っています。馬、ロバ、ヤクなどが使われます。一方で、農場で食用の作物を栽培して家に持って来ます。アッパームスタンには僧院、仏舎利塔、国王の居所など、非常の多くの史跡があります。ヤルドゥン、ティジー、パクニのような祭りなど、古くからの規則や規定に従っています。ムスタンの人々はいまだに保健や教育の施設が向上していませんが、お互いに出会うと誰に対しても寛大で、正直で、思いやりがあります。人々はより良い仕事の機会、教育、健康を求めて丘陵地方に移住します。人々は多くの病気の犠牲になり、飛行機に乗る余裕はありません。そのため平均寿命が短くなりました。大部分の人々は教育を受けていないため、ムスタンはネパールのうち未開発の郡の1つです。私たちの郡を開発するために私たちは教育が必要です。今やムスタンのすべての人々が、ムスタンと国をできるだけ開発しようと眠りから覚めています。

第5学年

ヨウドン

ゲーム

私たちはみなゲームが好きです。ゲームは屋内と屋外の 2 種類です。屋内のゲームは家の中で、屋外のゲームは野外でします。トランプ、ルードー、さいころ、チェスなどは屋内のゲームです。サッカー...

ジョーク

昔モモを食べたことのない少年がいました。モモの名前しか聞いたことがありません。ある日少年はモモ料理店に行き、「モモ一皿いくらですか」とたずねました。店の男が少年に言いました、「25 ネパール・ルピーだよ。」「じゃあ一皿下さい。」と少年は言って、店の男はモモ一皿にスープを付けて持って来ました。少年はまたたずねました、「スープはいくらですか。」店の男は、スープはモモを付けてただだよ、と言いました。そこで少年はすかさずこう言いました。「スープだけ下さい。」

第 5 学年
プル・サンモ

学校生活

学校生活はとても貴重で、一生に一度しか得られません。それで私たちがこの貴重な機会を与えられたら、学科でベストを尽くし、良い生徒になろうと努力しなければならないのです。少し大きくなった後で、私たちは学校生活の大切さに気づくかもしれませんが、それでは遅すぎます。ですから学校生活の大切さに今実感する方がよいのです。私たちは先生や学長さんや友達の言うことをよく聞かなければなりません。私たちは学校生活のなかで生徒会長とクラス委員を尊敬しなければなりません。皆さんの貴重な学校生活を無駄にしないでください。

第 5 学年
リンジン・ワンモ

ヒマラヤのムスタン

ムスタン郡はネパール西部のヒマラヤ地方にあり、海拔 8167 メートルに位置しています。ムスタンは小さい郡ですが天国のような景色で、とてもすばらしい文化です。この小さい天国では冬は寒く、川は凍り、山は雪が積もります。

ムスタンはジグメー・パルバル・ビスタ王の国でした。自然が美しく、偉大な歴史的僧院のある国です。ムスタンは神がネパールに下さった大きな賜物です。

第 5 学年
名前 パッサン・ドルカル

いくつかの驚くべき事実

- 1) カラスには胃が4つある。
- 2) 蛇には肺が1つしかない。
- 3) タコには心臓が3つある。
- 4) アリには鼻が5つある。
- 5) ヒトデには各部分の先端に、開いた目が1つずつある。
- 6) ネズミは水なしでもラクダより長く生き延びることができる。
- 7) ダチョウの脚は力が強く、一蹴りで人間を殺すことができる。
- 8) フクロウは頭を一回転することが簡単にできる。

第6学年

名前 パッサン・ドルマ

SOSでの私の最初の日

SOSでの最初の日は、とてもすてきな学校でとても驚きました。まずSOSに着くと校門が開いていて、私たちは中に入って私たちのクラスを探しに行きました。クラスを探すのにクンガや他の友達が私たちを助けてくれました。しかもクンガは私たちに部屋のことをすべて教えてくれ、そのとき鐘が鳴りました。私たちも含めて生徒全員が集合しに行きました。私たちが列を作るとき、私はカルサンという新しい友達に会い、お互いに自己紹介しました。カルサンと一緒に座っているとき、とても落ち着きませんでした。私の友達がみな前の方において私だけ後ろだったからです。それで私はカルサンとそれほど自己紹介できませんでした。私は先生たちのお話を聞いていました。予定が終わると、先生たちは私たちにお菓子とお茶を少し下さいました。でも外で昼食を食べることにしてくださっていたので、先生に午後1時30分には学校に着いているように言われました。昼食が終わると午後の12時50分で、私たちはみな、そのあと学校の中に入って教室、談話室、事務室などを見学しました。そのとき鐘が鳴って生徒全員が教室に入り、私も教室に入りました。私たちの学級担任はリジン・ドルメラという女の先生でした。私たちの友達が私に教えてくれたので、先生のごことは少し知っていました。そして先生が私たちの席を決めてくださり、初めはP.ラメと隣同士になりました。それからその時間が終わると鐘が鳴り、私たちは寮に行きました。SOSの最初の日はとても楽しかったです。

第6学年

タシ

私の村

私の村の名前はツァランです。とても美しい村で、山や丘陵に囲まれています。私の村の人たちの主な職業は農業です。村の人たちは雌牛、羊、犬、ヤギ、猫などたくさんの動物を飼っています。私の村には僧院が2つあります。1つには僧が住んでいて、もう1つには尼僧が住んでいます。宮殿が1つあります。私の村の人々はとても助けになってくれて親切です。国立の学校が1つあります。学校の近くに保健所があります。たくさんの木に囲まれたところですが、小さな川が1つあります。この川の水を使って人々はいくつかの穀物と野菜を栽培します。私の村にはほら穴がとてもたくさんあります。私の村の人々はよく働きます。だから、私は私の村と村の人々が好きです。

第3学年
セキー・ドルマ

私の生涯の目標

私はグレート・コンパッション寄宿学校ポカラ校の生徒です。私たちはみな生涯の目標を持っています。高い目標を持っている人もいれば、素朴な目標を持っている人もいます。私は生徒で、素朴な目標を持っています。私の目標は立派な医者になって私の国に尽くすことです。私は自分の目標を果たしたいですし、果たせるよう努力します。

私は学校程度を修了したら、出願して医学を勉強するつもりです。私は経験をたくさん積んで多額のお金を集めてから、私の小さな村に帰って、貧しく無学な村の人たちに尽くします。そのために診療所を開いて、地元の人たちのために無料で治療するのです。これと並んで、村を回って村の人たちに保健と衛生の大切さについて教えます。私は村の人たちに身の回りを清潔に保ち、清潔な水を飲み、新鮮な果物を食べるよう勧めます。私は村の人たちに予防が治療にまさることを教えます。村の人たちが村を清潔に保てば、病気を患うことが少なくなるでしょう。病気になる人たちは私の診療所で治療します。私たちの村はヒマラヤ地方にあり、病院は少ない方です。ですから病気になったら私の診療所に来て、問題があったら私が解決できるでしょう。私は診療所では健康診断料を請求せず、ただ薬代だけもらうつもりです。これと並んで、裕福な人々から寄付を請うてから、私の小さな診療所を病院にするつもりです。

これが私の素朴な目標です。今後私の目標に対して何が起こるかわかりません。しかし目標を達成するために最善を尽くすつもりです。

第6学年
テンジン・ラクパ

ローマンタン

私の村の名前はローマンタンです。ローマンタンは美しくきれいです。私たちの村は丘に囲まれています。私の村には 3 つの僧院があります。チョエデ僧院、トゥプチェン僧院、ジャンパ僧院です。チョエデ僧院には僧がたくさんいます。トゥプチェン僧院とジャンパ僧院には、仏教の神様たちの絵と像がとてもたくさんあります。私たちの村には宮殿が 1 つあり、宮殿にはムスタンの王室が住んでいます。私は私の村が大好きです。

第 2 学年

チミ・ヤンチェン

過去と現在のチベットの地位

1959 年より前のチベットは、人々が自らの伝統と文化に従って自由に暮らす国でした。人々が日常生活に必要な物は農業と商業で満たされていました。人々は仏教を自由に実践することができました。周囲は汚染されていない空気で、水と土は清潔でした。チベット人は自らの生活を保ち続けました。農民が余るほどの作物を生産したので、誰も飢えませんでした。宗教儀式が僧院や尼僧院で行われていました。狩猟が禁止されていたので野生生物も自由でした。この時までは誰も問題に直面する必要はありませんでした。時に中国人が襲いかかり、チベットに多くの否定的な変化をもたらしました。

1959 年にダライ・ラマ 14 世殿下が難民としてインドに逃れられ、他のチベット人たちも一緒に逃れました。現在では何千人ものチベット人がネパール、インド、ブータンなどの国に住んでいます。歴史的にチベットは美しい文化と自然に非常に富み、したがってチベット人にとって、その独特な文化遺産を保存することは非常に重要です。チベット人難民が自由を得た後に自国に帰ったら、こうした文化は助成されるでしょう。チベットに暮らす人々が権利を奪われるまでは、中国人も近代化を向上させる要素をチベットにもたらしていたのです。僧院や尼僧院の建設、そして僧と尼僧の入国も禁止されています。

それでも、正しいことがきっと訪れ、さらに難民とその国がひとたび自由になって、チベットの生徒が今後は教育を受けて責任ある国民になるはずである、と確信することが重要です。今は自由なチベットと言うには不十分なはずで、チベット人の自由のためにすべての人が助けてくれますように。

第 8 学年

テンジン

私たちの文化を守りましょう

文化とは、私たちが先祖から受け継ぎ、実践し、将来の世代のために保存するものです。文化には史跡、碑文、民族衣装、ドレス、言語、文学、芸術、音楽があります。しかし、私たちは文化の意義を本当に知っているのでしょうか。ある場所に行くと、そこに住む人々はその文化でそれとわかります。ですから文化は人々の証と考えられます。私たちの文化はチベットの文化と非常に似ています。私たちの地方のほぼすべての人々は仏教徒です。私たちはゴンパでお祈りします。私たちの先祖が残してくれたままの、文化的に重要な史跡が数多くあります。そのおかげで私たちは、自分たちの文化を誇りに思います。多くの外国人がそうした場所を訪ねに来ます。それで地元の人々は収入を得ます。ティージ、ヤルトン、ファグンギエなどの祭りを行います。人々のほとんどが教育を受けていませんが、非常に誠実できちんとしています。私たちの言葉はチベット語と同じですが、少し違います。私たちは民謡や音楽もたくさんありますが、今日では失われつつあるので保存しなければなりません。人々はかつてチューワ、ハウングジュ、女性は前掛けを身につけ、何か特別な場合には、男性はチュッワも身につけます。21世紀の若い世代の人たちは、世代から世代へと受け継がれてきた自らの文化、伝統、慣習を無視しようとしています。ですから私たちは、できる限りそれを保持しなければなりません。文化を持っているということは、どこでも非常に重要です。さあ、私たちのすばらしい文化を守りましょう。

第8学年

ペマ・ヤンドン

ネパールでの少女密売

ネパールでは男性が社会を支配していたので、以前は女子には同等の権利と義務が与えられていませんでした。しかし今日では、先進国のなかにはすでに女性に尽くす国もありますが、私たちはまだこの問題に直面しています。これと関連して、少女密売は私たちの国ネパールに蔓延している深刻な問題の1つです。定義によれば、少女を本人の意志なく一国から他国に売るとは、ひとまとめにして少女密売として知られています。この取引は人身売買としてよく知られています。少女たちは何の権利も与えられずに売春を強制され続けます。実際にネパールは貧しい後進国で、この国の人々の大部分が文盲で、外界で何が起きているのか知りません。ですからさらにお金を稼ごうと、教育を受けた人たちのなかには、少女を集めて他の国々に売りに行く人たちもいます。

私たちの国の一人ひとりがみな気づいて、少女密売について知っているべきです。

第8学年

ペマ・サムドゥブ